

(様式 1 1)

博士学位論文審査結果要旨

西暦 2024 年 8 月 29 日

研究科、専攻名 バイオ・情報メディア研究科 メディアサイエンス専攻

学位申請者氏名 Voraphan Vorakitphan

論文題目 Design of Multi-Stimuli by Interactive Environment for Prompting the Desired Human Behavior

審査結果の要旨

本研究は、デジタル機能を環境の一部として実現するアンビエントコンピューティングのデザインコンセプトを提案し、実装例を通じてコンセプトの有効性を検証したものである。今日のデジタル機能のほとんどが人の意識的な操作によって使用されるものであるのに対して、デジタル機能が将来において人の生活環境の一部を構成することになることを予想し、そのときに考案すべき機能の在り方を提案することが目的である。「操作」のためではなく環境の一部としての実現を考え、システムの物理的な存在を隠すだけでなく、特定の状況におけるコンテキストに自然に融合するようなインタラクションをデザインすることで、人から機能を「透明化」するようなデザインコンセプトを提示している。また、音と床下の振動を利用したシステムを実装し、それによって上記のコンセプトの検証を行っている。このようなデザインの提案と実証は、従来行われてきたスマートフォンのアプリとして実現するアプローチと異なるもので、将来のデジタル機能の在り方を示すことに繋がり、この分野への貢献が大である。

口頭試問においては、実施された応用例よりもより適切なユースケースの考案についての質疑、および従来手法やアナログ的な働きかけとの比較についての質疑があり、将来的な研究発展への期待が述べられた。また、人が受ける印象についての評価や考慮についての懸念の指摘もあったが、研究自体のコンセプトについては主査・副査ともにその意義を評価した。

学力試験は専門2科目と英語について実施し、いずれも満点、もしくはそれに近い点であったことから合格である。以上のことから、本審査の結果を「合格」と判定する。

審査委員 主査

東京工科大学 教授 柿本 正憲